

15議案を可決



令和元年 第5回 芳賀町議会 定例会

定例会の概要

令和元年第5回芳賀町議会定例会が11月29日から12月4日までの6日間の会期で開催されました。

第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明を受けました。一部議案の質疑・討論・採決と、発議案件の質疑・討論・採決を行いました。

一般質問は第5日目の12月3日に行われ、2人の議員が町政について質問しました。

第6日目は、第1日目に採決した案件を除く全ての議案の質疑・討論・採決と、各常任委員会の事務調査報告があり、閉会しました。

条例制定

□芳賀町会計年度任用職員
の給与及び費用弁償に
関する条例の制定につ
いて
会計年度任用職員制度の導入に伴い、給与及び費用弁償に関して必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。

〔質疑〕北條勲議員
(討論なし、原案可決)

□地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、会計年度任用職員制度が導入されることから、芳賀町職員の給与

条例改正

□芳賀町部課設置条例及び芳賀町立小学校通学区域審議会条例の一部改正について
第6次芳賀町振興計画中期基本計画を令和2年度から効果的、効率的に事務執行できる組織とするため、条例の一部を改正するもの。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□芳賀町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
令和元年人事院勧告に伴

〔質疑・討論なし、原案可決〕
※部課設置条例詳細は3ページ下段もご覧ください。

□芳賀町職員等の給与に関する条例及び芳賀町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について
令和元年人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じて、給与月額を平成31年4月に遡及し、平均0.1%引き上げるもの。

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□芳賀町都市計画税条例の一部改正について
近隣自治体の都市計画税の課税状況や、現在の社会経済状況を鑑み、令和2年度も引き続き、都市計画税の税率を100分の0.2とするため、条例の一部を改正

□芳賀町立小学校通学区域審議会条例及び芳賀町子育て条例については、部課設置条例の改正に伴い条例の一部を改正するもの。

〔質疑・討論なし、原案可決〕



条例改正・補正予算など

するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□**議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について**

令和元年人事院勧告に伴う国の特別職の職員の給与に関する法律の改正に伴い、議会の議員の期末手当について、12月期の支給割合を0.05月分引き上げするもの。令和2年4月からは、6月期、12月期をそれぞれ1.70月に改正するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

認定

□**芳賀町道路線の認定について**

主要地方道宇都宮向田線大塚工区の供用開始に伴い、主要地方道宇都宮向田線の旧県道部分が町に移管されるため、町道として認定するもの。

〔質疑〕 北條勲議員

(討論なし、原案可決)

契約

□**工事請負契約の締結について**

LRT事業で整備する信号設備(継電連動装置)工事の請負契約

契約金額

1億3420万円

契約相手方

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

日本信号株式会社

代表取締役 塚本 英彦氏

(質疑・討論なし、原案可決)

規約変更

□**栃木県市町村総合事務組合規約の変更について**

栃木県市町村総合事務組合の共同処理する事務のうち、令和2年度から新たに議員その他非常勤職員の仕事災害補償事務に小山市及び小山広域保健衛生組合を非常勤の学校医等の公務災害補償事務に小山市を追加するもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

補正予算

□**令和元年度芳賀町一般会計補正予算(第3号)**

計補正予算(第3号)

総額に7713万1千円を追加し、予算総額を97億4477万5千円とする

もの。

〔質疑〕 大根田周平議員、

北條勲議員、

小林俊夫議員

(討論なし、原案可決)

□**令和元年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)**

総額に916万5千円を追加し、予算総額を19億2416万5千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□**令和元年度芳賀町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)**

総額に82万円を追加し、予算総額を1億6782万円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

□**令和元年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第2号)**

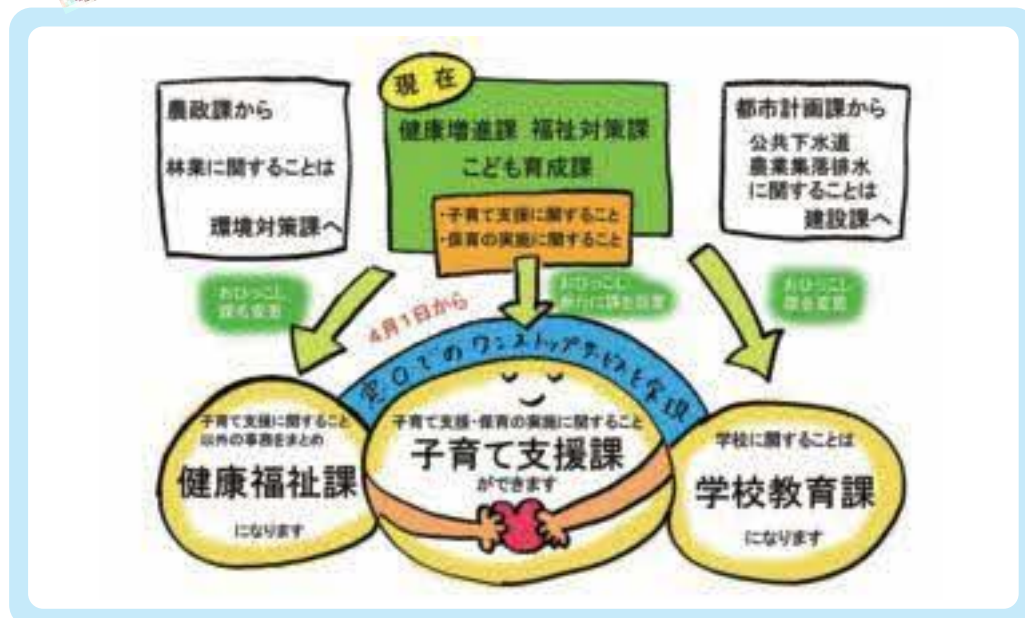
保険事業勘定の総額に344万5千円を追加し、予算総額を15億1296万4千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

(質疑・討論なし、原案可決)



なるほど！部課設置条例変更点





総務 常任委員会



児童・生徒・高齢者等の
交通安全対策について

視察先 群馬県桐生市

調査の目的 生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて、最高速度30km/hの速度規制や規制標識や路面標示等の安全対策を組み合わせて、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制を図っている先進的な実例を調査研究する。

調査の意見と提言 当町においては近年、昼間人口増加等に伴い田園型事故と称される交通事故が多く見受けられる。このような現状に鑑み、いかにして児童・生徒・高齢者等の交通事故を無くするかということが、喫緊の課題となっている。

このような状況を踏まえ、全国的に取り組み

教育民生 常任委員会



学校部活動と総合型地域
スポーツクラブについて

視察先 新潟県燕市

調査の目的 教員の働き方改革と、体力や技術の向上を目指したい中学生のニーズに応答し、部活動を補完することに特化した、公設のクラブを運営している先進実例を調査研究する。

調査の意見と提言 部活動は少子化の進行に伴い、教員数も減少し指導者不足により存続も危ぶまれる事態となっている。また、スポーツ庁から運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインが示され、活動時間の制限から子どもたちの要求に応えられなくなりつつある。

部活動については、教員に任せる従前の手法からの脱却が求められる今日、子どもたちの運動に打ち込みたい思いについては、学校と地域が協働・融合した形で、地域におけるスポーツ

産業建設 常任委員会



空き家対策について

視察先 福島県南会津町

調査の目的 空き家対策における現状と課題、また、適正な管理や利活用の推進について調査研究する。

調査の意見と提言 当町の空き家対策は、リフォームや解体の補助金はあるが、今後増加が見込まれる中、空き家の発生予防も含め、さらによりきめ細かな対策が必要になる。

施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」の定義では、建築物・付属する工作物・敷地とある。当町の「芳賀町空き地等の環境保全に関する条例」は空き地だけの条例のため、「建築物や付属する工作物」を含む条例にできないよう検討されたい。

また、現在175戸の空き家が存在するが今

議会閉会中の所管事務調査

れている「ゾーン30」を当町においても小学校・中学校等の生活道路を核として整備を行い、交通事故事件数のより一層の削減と「交通死亡事故ゼロの町」を実現するため、関係機関・地域住民と連携し、住んで良かったと思われる町づくりを推進されたい。



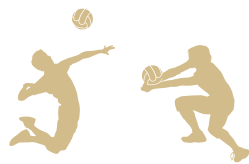
▲桐生市での視察の様子

□委員
大根田周平、江間田信一
小林信二、小林俊夫

※各委員会の所管に関する事務

総務常任委員会………総務課・企画課・税務課・会計課・議会事務局・監査委員・選挙管理委員会に関する事務
教育民生常任委員会………住民課・福祉対策課・健康増進課・環境対策課・こども育成課・生涯学習課に関する事務
産業建設常任委員会………農政課・商工観光課・建設課・都市計画課に関する事務

環境整備を進めていく仕組みづくりが求められているが、部活動を補完する役割を担うような独立採算制公設運動クラブの設立を理想とする。芳賀町の人口規模では難しいと考えられる。総合型地域スポーツクラブ設立は、運営維持に課題があり未だ実現していない。しかし、現在当町には、多くの町民が参加している充実したスポーツ教室が展開されている。町が積極的に関わりながら、部活動と対応するスポーツ教室をスポーツ推進委員とともに、部活動担当教員と指導方針や理念を擦り合わせ再構築することによって、芳賀町型部活動補完スポーツ教室とし、子どもたちのやりたい気持ちに答えられる環境実現に努められたい。



▲燕市での視察の様子

□委員
小林一男、岡田年弘、大根田弘
有坂隆志、中村由美子

後増加が見込まれる中、個々の物件について実態の調査分析、空き家の程度を数値化し、データベース化を図ると共に対策組織・対応制度の見直し、シルバー人材センターとの連携による維持管理等危険空き家の発生防止に努められたい。



▲南会津町での視察の様子

□委員
北條勲、山口菊一郎、小林隆志
岩村治雄、石川保